

# 市役所新庁舎建設だより

～市役所ができるまで～ vol. 8

問 財政課 ☎(22) 2111(内線328)

11月は、各階内装のクロス張り、塗装などの仕上げが行われ、1階のエントランスホールの床面には、花こう岩が張られました。床面の仕上げとともに、机やキャビネットなどの備品が次々に搬入され、組み立てが始まっています。

会議室には、効率的で多様に利用できる可動間仕切り壁も設置。さらに、照明器具も取り付けられ、無機質だった新庁舎の内部に明かりが灯り、夕方にはガラス越しに温かみを感じられるようになりました。

屋上では、20kWの発電が可能な太陽光パネルの組み立てが完了。外部では、南面に続き北面の足場が取り外され、いよいよ新庁舎の外観がはっきりと分かるようになりました。さらに、建物外周の外構工事も始まっています。

12月は、引き続き外構工事が行われ、いよいよ建築確認申請機関などによる検査が行われます。



北東側から見た外観



屋上の太陽光パネル



机が搬入された事務室

## ～子どもたちが思い描く選挙～

### 「明るい選挙啓発ポスター」 入選作品



明るい選挙の推進・啓発を目的に「平成29年度明るい選挙啓発ポスター」を募集したところ、市内の小中学校から57点の応募がありました。

北信地方審査で選ばれた6点の入選作品を市役所1階市民ホールで展示していますので、ぜひご覧ください。

▶展示期間 12月22日(金)まで(土曜日・日曜日を除く)

※入選作品は市公式ホームページにも掲載しています。



おおやま ゆきのの  
大山 由姫乃さん  
(南宮中2年)



あさの ふみか  
浅野 史華さん  
(高社中1年)



あきた らら  
脇田 琉々さん  
(南宮中2年)



ささき つぐみ  
佐々木 緒海さん  
(高社中2年)



つちや みか  
土屋 美嘉さん  
(高社中2年)



まつざわ こほる  
松澤 来春さん  
(高社中3年)

問 選挙管理委員会事務局 ☎(22) 2111(内線324)

# 市民リレー元気の輪

No.35

町田郁世さん  
からのご紹介



## ○自己紹介

嫁いってから農業を営んでいます。米やリンゴを栽培していましたが、ちょうど結婚した時期から、ブドウ中心に転換。今も現役で、シャインマスカットやピオーネなどのブドウを栽培しています。子育てや農業を大変とは考えず、一生懸命にやっていたら今に至ります。

農業研修生を20年間、毎年受け入れた時期もありました。県内だけでなく、四国や九州などの遠くからブドウ栽培を教わりに来た研修生を受け入れていました。冬に子どもたちとトランプなどで遊んでくれたり、雪かきを手伝ってもらったりと1年中寝食を共に過ごした研修生もいました。今でも研修生とは、農産物を

送り合うなど交流があります。

昔は、ママさんバレーの竹原チームを作ったり、夫と一緒にゴルフをやったりもしましたが、今は運動をお休み中です。



▲ブドウ棚と田中さん

## ○元気の秘訣

医師の勧めもあり、毎日20〜25分程度歩くようにしています。農家仲間やご近所の人たちと頻りに集まってお茶会をすることも元気を与えてくれます。また、「怒るな・転ぶな・風邪ひくな」を心掛けています。

## ○おらほの自慢

竹原は、種が無く皮まで食べられるシャインマスカットを栽培している農家が多く、収穫時期は活気づきます。

竹原の秋祭りで行われる花火は、区の外からも見物に来る人がいるくらい見応えがあります。区の若い人たちが仕掛け花火を一から準備していて、花火の音が聞こえると「今年もやっているな」と秋の風物詩のよ



田中とし江さん (竹原)

# 池田市長の

# わくわくレポート

vol. 48



## ふるさと信州中野会

高社山が紅く色づき味覚の秋がやってきたと思うそばから、足早に初雪が降り、冬の到来を感じた。今年「天高し」といった青空もままならず、気忙しい歳月の移り変わりである。

さて、先月は大阪の地で「関西ふるさと信州中野会」が開催された。今年の4月に「首都圏ふるさと信州中野会」もあった。ふるさと信州中野を離れ、遠く都市圏で暮らす皆さまのふるさとへの熱い思いに触れたい。

席上、話題となるのは両会ともに会員の高齢化であった。中野市の高齢化率も30%を超えてきている現在、さまざまな会や組織で課題となっているのが高齢化の問題である。どうしたら、会の若返りを図ることができるかといったことが話題



に上がり、喫緊の共通課題として共有された。  
東京圏や大阪、神戸といった遠隔地にあつて、ふる

さとを思い、さまざまな支援をいただいている。首都圏と関西における「ふるさと信州中野会」の存在は、中野市の知名度を上げ、地域ブランドを創り上げていくためには、大切である。現在、個人情報保護が厳格になっている中で、新たな会員増強はなかなか難しい現状である。そこで、中野市民の皆さまにお願いしたいことがある。首都圏や関西圏に住まいの、皆さまのお子さんや親戚に、ぜひともふるさと信州中野会への加入を勧めてほしい。  
かつて私が神奈川在住の頃、神奈川県に生まれ育った人たちが、どこでどのような活動をしているかといった情報を把握できたら、きっと興味深い結果が出るだろうと思われることがあった。時が過ぎ、所は変わっても同じことが信州中野にも言えよう。  
この地で育ち、首都圏などで活躍している人は多くいる。ふるさと信州中野とそうした皆さんを繋ぐプラットフォームとして、市も「都市」と「ふるさと」を結ぶヒューマンネットワークであるふるさと信州中野会の発展に力を入れなければならないと思う。